

歴代会長

初代 中村 寅雄
二代 小林 修平

三代 山本 宗熊
四代 清水 峯吉

五代 清水 繁太郎
六代 楠本 元

七代 神崎 昭男

町会のあゆみ

丸山町会は戦後、町会活動が解除された昭和27年に、江古田4丁目町会5部という町名で当初スタートした。そして、その当時の地名は江戸期以来の江古田村小字籠原であった。その土地の由来を物語るユーモラスな伝承話がある。昔、暴風雨で農家の籠が吹き飛ばされ、風が収まって探すと全部が広い原っぱの一角に収まっていた。その通りの農村地帯で、町名が変わった当時も一面の畑だった。勿論、今や道路も整備され、犯罪も皆無に近い比較的恵まれた環境下での住宅街である。次いで、町会地域が余りも広いので、江古田4丁目西町会と町名を変えて、江古田4丁目町会から離れた。その後、昭和39年住居法表示と漢字制限が関わり、常用漢字の中に「籠」という字がないことから、籠原から現在の丸山1丁目・2丁目と地名が変わり、町会も丸山町会となった。今でも丸山地域内の一部の公園や歩道橋などに、その当時の「籠原」の名称が残っている。

さらに、昭和54年に(旧)沼袋地域センターの開設と区の行政管轄の変更を機に、地理的にも日常生活の面からも、野方の生活圏内であることから、地域住民の賛同を得て、江古田地区町連から離れて、(旧)野方地域センター内の野方地区町連に加盟し、現在に至っている。しかし、野方に移っても、当時の江古田氷川神社の氏子として、中野区無形文化財「江古田の獅子舞」が挙行される祭礼には、従来通り参加している。

町会の組織

町会の組織は総務部 防犯部 防災部 交通部 環境衛生部 女性青少年部 福祉社会部の7部で、他に防災会がある。また末端組織として、町内を26グループの班に分け、町会費の集金、回覧等の諸情報の配布・伝達と各種行事の参加協力等で末端組織として町会活動や運営を担っている。

町会活動

安心で安全なまち 心地良い環境のまち	パトロール・まちかど防災訓練等 ゴミ集積所の管理・道路の清掃等 資源回収
心のかようまち	見守りや「サロン丸山」等の 福祉活動・地域の親睦 と交流をはかるため「餅 つき」などのイベントの 開催等
役にたつ情報の提供	毎月発行の「町会だより」 や、種々情報の提供等
未来を育む町	新会員の加入促進・児童、 学童の育成・町会の拠点 (会館)の設立等



毎年10月に挙行の氷川神社祭礼時に休憩場所である野庁消防署内の広場